京城新報

人の一生は重荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可からず

仁川支局 東京支局

●猩紅熱の豫防に就て

目下猖獗を極め居る猩紅熱豫防法に關し總督府醫院内科に於て主として傳染病を擔任せる山口醫學士の語る處は左の如し

猩紅熱の病毒は一体如何なる性質のものであつて又如何なる經路に依りて傳染するものであるかを知れば之に對する豫防の道も自ら明かとなる譯である元來猩紅熱は秋から冬にかけて多く發生する傳染病にしてペストやコレラの如く老若男女の差別なく誰でも罹ると云ふ程恐ろしい傳染性の強い病氣ではなくて三歳より七八歳迄位の小兒が最もよく罹るので之れより以上年を取るに從て罹る事が少なくなる併し二十歳迄は屢々罹る事あれども四十歳以上は極めて稀にして又六ヶ月未滿の哺乳兒も罹る事は甚だ稀である其病毒は甚だ頑固にして抵抗力強く能く嚴冬に堪へて數週日若くは數ヶ月間も其毒性を失はずに居室の床壁寢具衣服食器器具玩具書籍等に附着して居る事がある傳染源は云ふ迄もなく患者であつて或は直接患者に接觸して感染し或は間接に患者の使用せし器具玩具衣服等の媒介により又は患者に接近せる人々によりて媒介せられて傳染するものである而して患者は有熱期に於ては勿論傳染性を有すれども恢復期に於ても皮膚の剝落の終る迄は尙は矢張傳染の危險があるのみならず發病前數日間の潜伏期に在りても已に同樣に傳染性ありと云はれて居るのである患者の屍体も亦傳染の危險あるものである次に病毒の侵入門戶は多くは咽頭粘膜殊に扁桃腺と云はれて居るけれども亦皮膚の損傷せる部分より感染し又稀には產褥中子宮粘膜より感染する事もありと云ふ

以上述べたる處から考ふるに小兒は本病に感受性が強くして又本病は直接或は間接に患者に接觸する事によりて傳染するものである此點に於て豫防上最も必要なる事は病毒に接觸せざる事殊に小兒を注意する事である若し自家に患者發生したる場合は速に一定の室内に隔離して決して室外に出さしめず看護者を定めて其他の家族は其室内に出入せず患者に接觸したる玩具器具衣服等は消毒せざれば決して室外に持ち出さず看護者の出入に際しても充分消毒に注意を要するのである場合によりては小兒を他の家へ送つて避難させる必要もある然し此の如き面倒なる事をするよりも成る可く早く病院へ送る方が良策である而してあとの消毒に就ては患者に接觸せしものは差支なき限りは燒却し其他の物は夫々適當に充分なる消毒法を施し寢床疊其他室内の器具衣服類等も充分に消毒を行はねばならぬ消毒が不充分であると其後再び患者の發生する事がある（つゞく）

●朝鮮東海岸魚族調査（一）

▲帝國大學農科大學助手 脇谷洋次郎君談

朝鮮沿海の水產調査に就ては豫定區域は豆滿江より南、巨濟島に至る沿岸を調査する筈なりしも日數の都合上委しく見たるは元山以北所謂北鮮の沿岸に止まり精細なる視察の結果は尙は材料の精査を要すれども大体に於て朝鮮東沿海の水生動物の種類及内地の種類との比較其分布棲息の狀態等を研究するに朝鮮東海岸の特徵は

（一）潮汐干滿の差少き事（二）水溫の低き事にて從て之に伴ふ水生動物の棲息及分布狀態を異にせり

而して其の棲息分布の狀態は同沿海所產の生物が內地の日本海沿岸のものと相似たるも內地の夫れに比すれば寒海性の生物多く釜山の如き內地の沼津、濱田（岩見）と略ぼ其の緯度を等くするにも拘はらず尙鯖、鱈、鮭等を產出せり內地に於て是等の魚類を併產するは能登半島の以北又は太平洋にては金華山半島以北に於て始めて見る處なりとす之と同時に內地にては暖地の沿海にのみ限りて產する鰆、鯖、サンマ、等の如き暖海性の魚類が北海道の南端と其緯度を同ふする豆滿江河口附近に至る迄、饒產するは意外なる事實なりとす斯くの如き分布狀態は寒暖兩流の融和に源因するものにして內地の日本沿岸は對馬海流と稱する暖流の影響を受くること大なるも朝鮮の東海岸はリマン海流と稱する寒流の影響を受くること大なるを以て內地の日本海沿岸に比して寒海性の魚貝多し然れども尙對馬海流の幾分は北鮮の沖合に至る迄達するを以て同地方に於ても尙暖海性の魚類を見る所以なり

●豆滿江鮭漁の成績

本年豆滿江の鮭漁は例年に比し非常の豊漁にして何等の紛議も起らざりしは既報の如くなるが每年八月下旬より十月下旬を漁期の例とするが就中漁獲の多きは九月初旬より十月中旬までとす本年豆滿江より造山灣に至る約三里の沿岸に於ける漁獲高は五萬三千余尾にして日に四千四百を漁獲せし事あり販路は漁期中茂山會寧間島方面より仲買人來りて買占むるもの漁獲高の約二分とし其他は船便により淸津方面に仕向けらる右買の相場は一圓に就き五尾乃至七尾位にして出漁船は日鮮人を合せて四十五隻なりと云ふ

新年和歌募集
勅題「松上鶴」

選者 九皐館去留

一、一人にて何首にても宜敷、用紙用箋は御隨意の事、但投詠者は住所氏名御明記の事
一、締切期限來る十二月二十日
一、發表は四十五年一月元旦の本紙上を以てす

右は例年の通り勅題和歌募集致候に付同好の御方は奮つて御投詠あらんことを

京城新報編輯局

外事一束

▲英帝●印度皇帝戴冠式用兵器點燈用導火線より失火し五個の天幕燒失すと

▲保險●案反對の聲英國各階級に起り不贊成の書狀數千通下院に舞込み運動▲劇烈●にして漸く國家的性質を帶び內閣員は各地よりの不穩報道に抱不安

▲露國●淸動亂の結果極東駐屯の滿期兵は悉く除隊を延期すと伯林電報は報ず

▲露都●に日露協會創立され兩院議員各高等官外交官記者等會員となると云ふ

▲土國●金ダ海峽の封鎖を嚴にし老朽運送船を沈めて伊潜航艇の攻擊に備ふ

▲和蘭●內閣會議の結果新葡牙不和會議の提案起草委員を任命する事に決す

▲獨逸●議會極東小株式會社設置案を通過し其創立を淸國及膠州灣に限定す

▲歐洲●鐵市場昨今漸く活氣を呈し就中獨逸の該市場は最も活氣を示めすと

梁川庄八

小金井蘆洲演

第五十一回

藤『左樣なれば何と仰しやいますか、一つ願つて見ますから少々御待ち下さいまして』と二階へトン〜〜昇つて來た 藤『ヘイ旦那樣只今最前の鴉組の連中が參りました』庄『知てる早く此處へ案內をしろ、だが藤兵衞却々隅へは置けんな、旨い者だな傀儡師首に掛けたる人形箱は……』藤『ヘイ御存知ですか……』庄『乃公は此處で見て居たさ』藤『ア、油斷も隙もならない』庄『莫迦を云へ貴樣の方が油斷がならんわへ』藤『ワハヽヽ』庄『だが宜い〜〜其位な事はしてやる方が結構だ、けれど大小は面會をして本人に渡すから此處へ同道をしてこい』藤『夫は困りまさあ、御聞の通り請合て參つたんですから』庄『夫だからモー少し待たして置て降りて行け、夫迄酌でも致せ、種々話を致しましたが闖入ませぬから困切つて只今ヤツト鉧の舞だけは止めて貰ふ事に致して來ましたから夫で斯んなに暇がかゝりましたと云へ』藤『へ、成程左樣でございますな、左樣ならお酌を申上げませう』と酒の對手をして飲初めた、下では夫んな事とは知らず北浦初三人が、斯んな手間の取れる處を見ると承知をしてくれぬかと心配をして居ると軈て何く立て降りて來た 三人『藤兵衞如何であつたな』藤『サア皆樣、私も御馴染だけに御闖入下さるだらうと思ひまして處が、大變な御立腹で如何に貴樣が中でも今度の事ばかりは斷辭能りならん、何でも斷て了ふと云て御居でなさるんですよ、夫から種々申上て漸つと大程云者なら拔刀をするだけは止めよふと仰しやいました、が兎に角御目に掛らなくつては、刀は渡せんと云てるんですから、御一緒に御昇んなさいまし、けれ共是丈け話をつけたのは容易な骨折じやあございませんよ』三人『何うしてお渡し下さらんか、夫は困つた者だが御目に掛つて無禮な奴だと云て拔きなさる樣な事はあるまいか』藤『夫は大丈夫で私が御一緒に參りますから』三人『左樣か夫なら案內を致して貰ふ』と云ので藤兵衞先へ立て二階へ昇つて 藤『エ、申上ます』庄『何だ』藤『最前の皆樣が御入來になりました』庄『左樣かサア〜〜何うぞ此方へ』と取立て丁寧に云ふと、藤兵衞が莫迦に感嚇かした者ですから、三人共廊下にズラリ平伏をして居る 三人『最前は甚だ失禮……何うかまあ……』庄『イヤ是れは各々方、浪人の拙者へ對して其慇懃なる御挨拶却つて痛入る先づ何うぞ此方へ』と三人の手を取るやうにして座敷へ誘ふ 庄『コレ藤兵衞……お茶を』藤『ヘイ……』三人共面目なさそうな顏をして 三人『最前は酩酊の餘り何とも申譯なき事を仕りました、何卒格別の御憐憫を以てお宥しを願ごう存じますが』庄『イヤ然う仰せられては、此方も御詫致さねばならぬ、素と宿怨あると云ふ譯ではなく、各々方も一時の血機嫌で御構なされた事でござらう、又血氣の勇に任せて拙者に手向ひなされた事でござらう、只今御後悔の御容子を見たからは拙者も大きに安心致した、今後左樣の事なきは必定と存ずるゆへ、此の腰の物は御返し申す、早速御手許に御納め下さるやうに』と刀を出されて先刻辯財天の境內の權幕に引換へて如何にも柔和な挨拶意外な思をした、庄八はポン〜〜と手拍つ 女『お招になりまして』庄『早く酒肴の支度を致して持てこい』女『畏りました』庄『各々方只今も申通り素と宿怨のある譯でなくほんの行掛りからでござるから、仲直りのため一盞酌交さうではござらんか』軈て持運ぶ酒肴、互に打解けて獻しつ酬へて飲初めた 庄『時に貴公達は俚見家の御臣下として城下町人共から鴉組杯と異名を附けられ、到る處で人々に嫌らはれるは餘り賞めた事ではござるまい、武士と云者は夏は日向冬は日陰を步行いて町人共に道を譲る位に致さんければならぬ者、王者は云はずや民を以て天となす民は職を以て天となす、領主の資は領分の百姓町人である夫を各々方が罪譯もなく酩酊の上で詰める事が、何も御存じのない御主君の御不德を招く基となる、是れ不忠の第一でござらう、以後は能く〜〜御改めなさるやうに』と段々と說聞せた者ですから、三人共大に前非を悔ひ、厚く禮を述べて上州屋藤兵衞にも禮をして狐鼠〜〜と逃るやうに城中を差して戻りました

東京電報

▲官革兩軍又休戰 在漢口川島第二艦隊司令官發海軍省着電によれば六日より官革兩軍は更に三日間の休戰を約せりと

▲動亂地經濟調査 東京商業會議所にては今回淸國動亂に對し日淸貿易の變調其他經濟的方面の調査の爲め杉原英三郎岡崎房次郎鈴木島吉の三氏を渡淸せしむる事に決定せしが尙ほ現地の事情に依り今日迄延期することに決し更に大阪橫濱神戸三商業會議所より一名乃至二名の視察員を派遣せしむる筈なりと云ふ

▲張勳の再擧計畫 濟南府よりの電報に曰く張勳は官兵九千を集め江蘇省徐州の津浦鐵道により天津と連絡を取り[illegible]

▲黃興飽迄戰ふ 黃興は速に新政府を組織し飽迄官軍と決戰する方針なりと

▲攝政王と妥協政策 攝政王の退位は[illegible]袁世凱が叛軍と妥協する爲め[illegible]

▲兩博士の南淸行 副島義一、寺尾亨の兩法學博士は七日新橋出發南淸に向ひたるが革命黨の外交顧問たるべしと傳へらる

▲小池總領事轉任 總領事小池張造氏は倫敦在勤を命ぜられたり

上海特電

▲袁密使を發す 袁世凱の密使は武昌に來り黎元洪に會見し袁世凱の意を傳へたるも[illegible]

▲革命派會議 各省代表者は武昌に集まり大會議を開かんとせしも砲彈雨飛危險極まりなきを以て漢口下流に碇泊せる軍艦內に於て將來の方針四ヶ條を決議せるが其の條項左の如し(一)借款を起す事(二)假政府を南京に置く事(三)軍器を買入るゝ事(四)袁世凱の講和條件に對する方針を決定する事

▲革黨南京政府樹立 革命軍は程德全の南京入城を機として大總統式を行ひ新政府の樹立を見るべし

▲革黨の首都決定 黃興は假大元帥となり南京を帝都と決す

▲南清の排獨運動 南淸に於て盛なる排獨運動起りつゝあり

北京特電

▲滿人袁を疑ふ 滿人間にては袁世凱徐世昌等が軍事の全權を掌握せるに疑惧の念を抱き滿人にして元陸軍副大臣たりし[illegible]を擧げて袁徐等と軍事上の議に參與せしむることゝなり爲めに袁世凱一派は滿人に對して甚だ感情を害しつゝあり

▲革軍特派刺客捕縛せらる 袁世凱を暗殺すべき目的にて上海革命黨の派遣せし刺客は天津に於て捕縛せられたるが炸裂彈四個を携帶し居れり尙ほ他にも來れる事を自白せり目下其徒黨としての嫌疑者を搜査中也

▲皇太后の攝政 淸國皇太后は攝政王に更り皇帝を擁護し以て皇室の尊嚴を保たんとの悲痛なる上諭を發せられたり

雜報

●東拓會社の借款 東洋拓殖會社にては今回日本興業銀行に對し年五分の利率にて三百五十萬圓の借款を申込み兩者間に於て交渉進行中なり

●十一月迄の朝鮮貿易 本年一月より十一月末日に至る朝鮮貿易總額は六千五百五十五萬五千百二十六圓にして內輸入四千六百七十九萬〇三百圓輸出一千八百七十六萬四千八百二十[illegible]三千百九十七萬四千[illegible]五百二十六圓を[illegible]せるが之れを前年度のそれに比較すれば[illegible]

●內地人の農事經營地方別 朝鮮に於ける內地人農事經營者にして一萬圓以上及び夫れ以下の經營者並に各道別に於ける經營者の數及び投資額を掲ぐれば左の如し但し投資額は圓單位

道名	一萬圓以上／以下	經營者數	投資額
京畿道	一萬圓以上	一七	九二九、七四二
	同 以下	一六五	一九六、五九四
忠淸北道	同	一	七〇、〇〇〇
	同	八二	三六、三四〇
同南道	同	一六	六二一、八七四
	同	三五四	三八八、五五三
全羅北道	同	三一	二、一九八、九三七
	同	二五二	四〇三、三六五
同南道	同	二八	一、三六四、一四八
	同	三五三	一、六八八、八九四
慶尙北道	同	七	四一七、九二〇
	同	四二〇	五六六、四八四
同南道	同	四六	二、三九七、一一九
	同	三〇七	五九四、三八四
黃海道	同	一四	一、三五三、三一九
	同	三三	二五、二七〇
江原道	同	…	…
	同	七	一、七五〇
平安南道	同	八	一八九、二四五
	同	五三	一七七、五〇七
同北道	同	…	…
	同	一四	四、三〇〇
咸鏡南道	同	三六	六三、九〇〇
	同	[illegible]	八一、八一五
同北道	同	…	…
	同	五	九、二〇二

●上海最近狀況 朝鮮總督府度支部第九回調査に係る支那上海に於ける昨今狀態を略述すれば

▲銀行其他の金融關係 支那銀行の信用未だ回復せず其手形一般に通用せず

▲貨幣 各所擾亂の結果軍資及取引に現金を要するより貨幣相場稍騰貴せるも昨今少しく下落せり

▲兌換券 支那銀行の兌換券の中上海流通を明記せるものに限り信用回復し外國銀行のものに關しては最初より何等の影響なし

▲對外爲替 輸出荷爲替相當取引あり

▲朝鮮向貨物 (イ)綿布は朝鮮に向け相當積出あり(ロ)綿花は木浦を始めとし全羅南道一帶に豐作なりしため價格低廉を告げざるに付朝鮮に向けての出荷は皆無の姿なり

▲航運界 今次の暴動に關して北淸北漢上海航路とも今日迄特記すべき變動なし今日の處旅客は平常より二倍を算し居り今後の影響は測り難し

●朝鮮黑鉛輸出狀況 朝鮮に於ける黑鉛の有望にして年々外國への輸出高の多きを加ふるは統計の示すところなるが今最近に於ける輸出先の販路並に競爭品の如何に就て之れが狀況を掲ぐれば左の如し

▲京畿道外四道 京畿道、忠淸南北道、全羅北道、黃海道の五道に於ける[illegible]四千二百[illegible]鑛區を爲し[illegible]に於ける百[illegible]は昨年中[illegible]に於て本[illegible]し數量[illegible]九十四圓[illegible]なるが右は何れも土狀黑鉛にて主として獨逸漢堡に輸出せられペイント及び靴墨の原料鑄型鐵器の錆止等に用ひられ居れり而して更に歐州に於ては印度及び錫蘭島、墺地利匈牙利、北米合衆國伊太利産等一般に需用せられ居れば朝鮮産黑鉛が此の間に立つて販路を擴張せんとするには餘程の苦心を要するは言ふ迄もなきも要するに朝鮮の黑鉛は其の品質比較的良好なるを以て他日一般に歡迎さるゝにいたるべきは今より斷言するに憚らず現に叙上靑山郡産の黑鉛は獨逸の市場にて一噸四十三圓の市價を保ち居れり

▲咸南江原の二道 咸鏡南道江原道一圓の鑛區百二十三萬七千五百〇六坪にして右採掘黑鉛は四五年以前より殆んど全部外國に輸出され而も逐年增加の一方なるが現今にては朝鮮重要輸出品の一に數へらるゝに至れり仕向先は英國を主として米獨之れに亞ぎ其の用途は頗る雜多なるも重もに製鐵配合用、防銹料及び坩堝塗料、カーバイト、ペーント等の原料として使用され居れり而して朝鮮産の競爭品は伊太利品にて現に前年歐米市場に於て伊太利産は朝鮮産品の侮るべからざるを察し水力電氣を應用し含炭素量九〇パーセント內外の佳品を供給せしに依り爲めに朝鮮品は少なからざる打擊を蒙りたることあり

▲平安黃海の三道 平安南北黃海の三道に散在する黑鉛鑛は頗る多數なるが就中平安北道を最も多しとす而して右三道より產出する黑鉛は品質優良にして晶狀(鱗狀)黑鉛其の全部を占め居れりされど採掘の着手は近く二三年前に始まりしを以て他道の成績に比し極めて幼稚の狀態にあり而して之れが輸出は一度び下の關グラファイト會社へ輸送し同會社より更に歐州に輸出し居れるが價格は昨今四十圓內外なるが如し

▲將來の輸出豫想 されど朝鮮の黑鉛は今日のところ試驗時代に屬し從つて仕向先きに於ける販路も鞏固ならずといふを得ざれども將來不純物の混入を除去し品質の一定を保つに於ては外國產品に比し比較的廉價にて供給し得るを以て販路を得ること蓋し容易なるべし

●長官會議流會 八日の定例長官會議は政務總監都合により出席せざるにより流會となりたり

●商工調査會延期 京城商工調査會は十日京城商業會議所に於て總會を開く筈なるも年末に際し業務多忙のため總會を明春に延期すへしと云ふ

●列車連夜運轉後郵便物 京釜間列車連夜運轉開始以來京城に到着する郵便物の狀況を聞くに每朝八時五十分南大門驛に着する普通郵便物は從來は四十個(把數)小包は六十個(包數)平均なりしが運轉開始以來は每朝普通郵便物三十個小包六十個平均なるが要するに其の不均數の多數なるは連夜運轉の爲めにも依るべけんも一は滿鮮直通列車開始の爲めなりといふ

●溜池復舊工事 總督府にては補助金を交付し各地の溜池を復舊方奬勵中なるが本年度に於て工事に着手し既に竣工したるもの全羅北道の全州、金堤、古阜、井邑、泰仁の各郡に於て十四個の溜池を修理し工費三萬八千二百八十五圓餘國庫補助二千萬八十圓慶尙南道の釜山府、泗川、晉州の一府二郡の三溜池工費九千三百三十餘圓補助費四百三十餘圓の合計十七溜池なりと云ふ

●聯絡船故障と發着 七日夜釜山發八日朝下の關着したる關釜聯絡船對馬丸は途中機關に故障を生じたるため船渠に入りたるを以て修繕完成迄約十日間は聯絡船は從來(十二月一日以前)の通りにて釜山發每夜並に隔朝航行のことゝなりといふ因に南大門驛發列車には何等の變りなしと

●移入洋紙の狀態 諸用及朝鮮人用としての洋紙類は年と共に印刷に其需用を增加し之を京城のみに就て見るも昨四十三年度に於ては輸移入總計六十三萬八千百十五斤五萬九千〇九十圓を示せしものが今年は十月末日迄の輸移入總計數量百〇六萬八千八百三十三斤價格九萬二百の二圓の巨額に上り尙ほ益々增加の傾向あり而して其の日本人側に使用せらるゝものは主として土佐紙株式會社に依り移入され其の數量約二百斤價額二十萬圓にして其の需用先は市內諸官衙を第一として中山洋紙店及日韓印刷會社亦各之れに劣らざるの移入をなす又た其の朝鮮人側に於て需要せらるゝものは重に鮮人紙商組合事務所及び鐘路鄭斗煥の手に依り鮮人小賣商並に一般需要者に賣り渡さるゝものなるが右兩者を通じ其鮮人間に最も多く需用せらるゝ洋紙類は薄紙にして一千二百枚乃至二千枚大版西洋紙を一俵として一ヶ年千俵以上千五百俵の賣行あり尙ほ朝鮮紙は其の市中需用額の大部分は金斗煥の手を經て供給さるゝものにして其重なる品名及一ヶ年間の賣行高は見樣三貼紙千塊胡尺紙三千塊籠扇紙百塊滴風紙千塊大井紙百塊等なるが其他各容主の手を經て鮮人紙商小賣店に賣渡さるゝもの若干あるは勿論なりと

●施肥と滿洲豆粕 元來半島の農民は耕作上の智識に乏しく且資力なきを以て肥料を購求して施肥するが如きことなかりしも內地人の耕作者も漸く多く又農事試驗場等に於て試驗成績を發表して鮮人を誘導し且つ日本人耕作地に於て一圓の肥料は二圓の增收を得ることを目擊するを以て朝鮮農民等も漸く其の有利なるを覺りぼつ〳〵需用を擴大せんとするの傾向ありされば鎭南浦の齋藤精米所にては一昨年來油房を設置し朝鮮大豆を以て豆粕製造業を起せり其一晝夜の製造力四百八十枚にして重に朝鮮內地の需用を充たしつゝあり然るに朝鮮大豆は大粒なる分は滿洲大豆に比し百斤に付き三十錢高く小粒の分は二十錢方低廉なるも品質劣等にて含油量少なし故に結局滿洲大豆により製造したる豆粕を仰ぐ方利あることとなるされば朝鮮の農業改良に伴ふ滿洲大豆製豆粕の前途は頗る有望なりと云ふべし

●十一月中京城出入品 十一月中京城出入重要品格價左の如し(京城稅關出張所調査價格は圓位)

輸出及び移出の部

品名	價格	品名	價格
乾魚及鹹魚	一五四	牛皮	三、七七三
其他諸品	一四三五		
合計	一〇、三六六		

輸入及び移入品の部

品名	價格	品名	價格
小麥粉	三、五六八	鹹魚	一、六六七
果實類	一、八二〇	砂糖	一〇、七四九
罐壜詰食物	一〇、七四九	淸酒	三六、五一七
麥酒	五五三	雜酒類	二、二九六
蠟燭	三五五	繰綿打綿	二、七六五
綿糸	三、二一四	金巾	一九、九二三
晒金巾	二、九九九	天竺布	一九一
綿縮子	三、七一八	日本木綿	三、三四六
麻布	四、二〇九	毛織物	四、一三九
絹布	一四、八七七	靴履物	七、六四一
紙	二四、三二〇	諸立具	七、二四九
書籍雜誌	四、六八三	熟鐵	一七九
軌條及附屬品	九五	鐵(筒及管)	一二六
鐵釘	三四	鐵鍋釜	一、六八八
諸機械類	二、八九〇	煙草	三、二六〇
陶器磁器	二、八九〇	木材及板	四、八〇六
叺蓆及莚	七九	家具	七、七三五
木製品	三、二四九	小包郵便物	一九〇、九七九
其他諸品	二二〇、九六三		
合計	八八六、三九四		

備考 生金巾には生シーチング晒金巾には晒シーチング綿縮子には綿イタリアンスを含む

●東洋捕鯨の成績 江原道通川郡長箭に出張所を有し盛に同方面沿岸に於て捕鯨に從事せる東洋捕鯨會社の十月中に於ける成績を聞くに捕獲二十九頭に上り一頭の價額平均千二百八十九圓弱なりと

●電燈料引下後成績 京龍に於ける電燈料金引下以後に於ける成績を聞くに十一月末迄は點燈數(十燭光平均)二萬餘なりしも十二月一日よりは一日五日迄にて三千五百燈の申込あり一日平均五百燈の割合なるが十一月頃は一日の申込三百燈位なりしと

●電車軌道復線落成 日韓瓦斯電氣會社にて豫て工事中の古市町より龍山軍司令部前にいたる電車軌道復線工事は古市町より岡崎町にいたる間約半哩は一週間以前竣工し又新龍山柳町より軍司令部にいたる間三分の一哩も同じく六七日以前工事を終へ兩端間とも既に運轉を開始したるが唯漢江通四丁目より柳町にいたる約半哩の間は未だ工事中にて來る二十日頃竣工すべく尙ほ漢江通り四丁目より舊龍山南坂にいたる約一町の間の復線工事は來春にいたらざれば工を終らざる由なるが更に來春に於ける南大門より古市町の復線工事竣成せば爰に鐵路より龍山にいたる迄の電車は全部複線となる譯なり

●仁川民會開設 仁川民團役所にては十一日午後六時より同役所樓上に於て民會を開き小學校建築の件を附議する筈なりと

●內田伯剌西爾公使の出發 南米伯剌西爾特命全權公使內田定槌氏は八日午前〇時滿鮮道通列車にて入京し天眞樓に投宿したるが氏は八日午後十時四十分南大門驛發列車にて歸朝す

●外波少將の出發期 總督府武官より海軍省出仕を命ぜられたる外波少將は明後十日事務引繼を了したる後新任武官山縣少將を各部長官並に各國領事に紹介し來る十二日當地發赴任すべしと

●山縣少將の着任 海軍兵學校教頭より總督府武官を命ぜられたる海軍少將山縣文藏氏は九日夜南大門驛着入京明後十日新舊武官の事務引繼を行ふ筈

●英國副領事の就職 新任京城駐在英國副領事タブルユー、エム、ローヅ氏は本月一日就職したる旨今般同國總領事より總督府に通知ありたり

●京城府學校長會議 京城府廳にては五六兩日管內公立普通學校長を召集事務の打合をなしたり

●漢城共同在庫品 漢城共同倉庫會社の最近十一月末現在に於ける在庫品々名及評價額を聞くに白米二千七百六十九圓籾米七百五十六圓麥二千八百二十四圓砂糖三十五圓日本酒二百六十圓洋酒一萬九千五百二十七圓食料品八百二十圓綿織物六千四百圓麻織物四千八百四十五圓毛織物三千三百九十圓洋紙一萬一千八十六圓和紙五千九百二十三圓金屬二千九百圓萱七萬八千八百十三圓雜品九千十二圓合計十四萬九千四百六十二圓余にして之れを昨四十三年十一月末現在々庫品評價額九萬六千五百三十二圓に比するに五萬七千九百三十圓の增額を示し頗る順調を示し年內は之れ以上左までの增加を見ざるべきも來春に至らば頗に入庫品の劇增を來すべき見込なりと

●鮮人と郵便事務 既報の如く現今朝鮮全道に於ける郵便局(電信を取扱ふ局も含む)は總計五百〇四個にして集配人は約千八百人あり內鮮人千四百人內地人四百人なるが鮮人は何分機敏の風を缺く代り事務に忠實にて且つ內地人に比し薄給に甘んずるより比較的郵便事務の閑散なる地方は鮮人を雇ひ京城釜山仁川平壤等の如き內地人の居住者多く郵便事務の繁雜なる地方は內地人を雇ひ居るが唯郡會と雖も鮮人宛の郵便物は鮮人の集配人を以てし內地人宛の郵便物も集配せしめ居る由尙近來に至りては集配の時間の制限嚴なるより習性となりて緩慢の跡なく從つて其の成績も良好なりと

●商務總會開會 當地在留淸國人商務總會は八日午後八時より南大門通華商總會に於て總會を開けり

●鐘峴通の土地買收 鐘峴通り道路擴築に付本月一日より土地の買收及家屋移轉方交渉を初め居れるが既に半部は交渉濟ひ本月中には全部終了すべしと

●滿鮮直通列車乘客 七日午後八時三十分南大門發長春行列車には松井外務省參事官外二名乘込み八日午前〇時二十分長春發南大門着列車には內田ブラジル駐剳公使西洋人五名總員十名乘込みたりと

公人私人

▲內田貞槌(巴拉西國駐在公使)七日天眞樓へ
▲水谷千萬吉(海軍大佐)同南尾旅館
▲窪田梧樓(辯護士)同南尾旅館へ
▲米澤幸太郎(金融組合理事)同國重へ
▲松井慶四郎(外務省參事)同奉天行

▲京城手形交換高▼

月日	金高	枚數
十二月八日	二六三、三四八、四二〇	七九七

▲茶袋▼

中央派を中心として例の官僚系の輩は今期の議會に於て見ると別に批難すべき點は少ない、であるそーな、現內閣今日迄の遣り方で現內閣ブツ潰を試みようと目下劃策中彼官僚系の一派は如何なる隙に乘せんとするか、唯政權を在野黨の手に握られた口惜まぎれに反間苦肉の策を弄した所で、それでは到底國民の同情を得むことは六ヶ敷い△現內閣は明年度に於て破天荒の行政整理をやり其第一着手として繁文縟禮を廢し、當座限りのものは成るべく鉛筆にて間に合せ大に事務の簡捷を圖るべく目下次官會議にて考査中であるとか、至極結構な事だ△由來官廳の繁文縟禮が人民にドレ程迷惑をかけてをるかは第一に朝鮮の各官廳のそれを見ても直ぐ判かる、吾輩は現內閣が此點に氣附いたのを多とする△京城日本人商業會議所では、京城稅關出張所に向け年末に限り日曜大祭日の休暇を廢して通關事務の取扱をしてくれと請求した、歲末の商業は實に瞬間寸刻をも爭ふものであつて、其商品と雖も此時期に限つて需要されるものが大部分を占めてをる、稅關當局者は此事情を斟酌して、詮議とか審議とか重々しい態度を執らずに、直ちに商議の請求を容れ人民の便利を圖つて欲しいものだ△支那の革命黨は大隈伯の意見を聞きて今後の方針を定めむことを熱望してをるとの報に接した、流石に早稻田大伯だ其海外に於ける聲望の高きは到底元老連の及ぶ所にあらず

●請負業者の恐喝

▽外妾の元の情夫を

其後の三木はおあいの事を念ひ斷りしとにはあらぬも兎に角關係を恐れて萬遊樓に足跡せざりしに十一月中旬おあいは愈々黒川に落籍せらるべしとの事を耳にしたる三木は深く語らひ交せし女のことなればイザとなりて未練も起りて電話口におあいを呼び出し[illegible]との返答に取り着く島もなければ[illegible]なく念ひ斷りて『お目出度う』の祝辭を述べ[illegible]電話に[illegible]おあいは其月十八日黒川に落籍され本町九丁目の[illegible]はれたるが三木は猶未練ありしと見へ本月二日萬遊樓を訪れおあいが身受けの成行を聞きしに女將は一通の手紙を取り出しおあいが身受さるゝ時三木さんが來たら渡して呉れと預け置きたしものなりと手渡せしを讀み下し見れば『相談度事あれば時機を見て出會ひたし』とありしにぞ[illegible]

[illegible]

[illegible]れあいは黒川の内縁の妻松尾よき（三）と共に三木を迎ひに來りしが[illegible]行きたるに黒川は[illegible]三木に對しかも[illegible]『俺が落籍したおあいを街路に引き出して[illegible]々訴をするとは不[illegible]いと共に俺の面に[illegible]の都合に依つては[illegible]と猛り立つに縮み[illegible]言三言言ひ掛けし[illegible]と拳を固めて

面部及び頭部を亂打し且

[illegible]掴んで其場に引き[illegible]た女と街路にて密[illegible]な理由を聞かう、[illegible]すれば此儘の姿で[illegible]したり（つゞく）

●腸チブスは癒らぬか

腸チブスに罹つた人は大抵死ぬもので[illegible]智識を有たぬ多く[illegible]して了ふ樣に思はれ[illegible]進歩した今日其樣に[illegible]紙から然し朝鮮[illegible]に比して著しく多く[illegible]これを取扱ふ先生方

石川醫院長談

[illegible]のかと問はれたなら[illegible]すると答へる概して[illegible]老人は死に易い男と[illegible]長く堪へ得る脂肪質[illegible]が良好である又身体[illegible]は云ふまでもないウ[illegible]門下生が曾て培養[illegible]菌を試みに嚥下して[illegible]の影響を及ぼさなか[illegible]精神肉体共に強健で[illegible]故に併發症即ち腸炎[illegible]孔或は心臓痲痺を起[illegible]すと謂へる不幸併發[illegible]して悲觀すべきもの[illegible]起した場合でも大抵[illegible]フス菌を撲滅せんと[illegible]で併發症を惹起さぬ[illegible]の注意を要する點で[illegible]を用ひるのは忌むべ[illegible]適を待つて適宜の處[illegible]頓ピラミドンと云ふ[illegible]未だ一般には用ひら[illegible]期を逸しなければ有[illegible]併發症を起さずに死[illegible]の處置の惡いのと看[illegible]のが充分でないので普[illegible]注意されたことは守[illegible]病院に收容した患者[illegible]中搬荷に動搖される[illegible]け出でをしないと等[illegible]の疑はしい時には醫[illegible]も專門家に相談する樣にすれば宜い（在文責記者）

●仲買人の奸手段

▽大概斯樣者斗り

仁川米豆取引所仲買人橋本彌三郎が得意客の通帳を僞造し暴利を貪り居たる事古賀某に依りて發見せられ遂に其筋に告訴せられ居る事は既報の如くなるが今其顛末を聞くに茲に仁川寺町二丁目二十二番地居住古賀忠五郎（六三）なる者あり郷里長崎に於て貿易商を營み居りしが期米相場の手違ひより大失敗を招ぎ仁川に落ち延び知人の援助を受けて商業に從事せしが少許りの資本を流用して相場に手を出せしも其度毎に思惑外れ昨年の暮に至り遂に閉店の止むなきに立至りしより彼は裏家に引移りて正月の松飾り用〆繩を綯ひ漸く糊口を凌ぎ居たる境遇に同情したる知人より資金を與へしにぞ彼は蘇生の思ひして取引所附近に於て菓子小賣を營みつゝ取引の形勢を觀望しつゝ食物を節して積立てたる利潤を利用し一再ならず手を出したるも都度失敗に歸したるにも撓まず八月一日先物（十月限）四百石の買建を爲したるが當時橋本は古賀に向ひ米價は漸次下落すべければ四百石全部賣放すこそ得策なるべしと勸誘せしも同人は見込みあれば全部賣放す意志なし然れども折角の忠告なれば内二百石は賣建て苦しからずと答へ置き越へて十月二十日に至り古賀は殘米二百石賣建の好機到來せしより神戸組の井上氏同道橋本を訪ひ殘米の賣建を求めたるに意外にも右は八月二十四日十月限石十二圓四十三錢にて賣建てたる如く記帳しありしを以て其不當なる獨斷を詰り更らに當時の相場は十四圓二十錢を保ち居たれば三百十六圓の利得金の支拂を要求したるに橋本は十二圓四十三錢にて賣放したれば四十圓の損失と成り居れりと答へたるより通帳の返還を求め取調べたる結果前記橋本の行爲判明せしにぞ其筋に出訴したる次第なりと

社告

稿の御寄贈に候其玉

鳥兎匆々愈極月と相成本紙新年號準備の期も愈相近かづき申候就ては本紙が此際愛讀各位に御願致度は本紙新年號に掲載すべき各位玉稿の御寄贈に候其玉稿の論文たると將た美文たると詩、歌、俳句情歌端歌たるとは各位の御隨意にして本紙は硬軟何れをも歡迎仕候

新年畫附録

本紙新年畫附録は本紙が特に邦畫の大家**川端玉章翁**に依囑して成りたる**勅題松上鶴**の祝畫にして其高尚優美なるは贅言を要せずと被信候

十二月　**京城新報社**

●歳暮の贈答品（四）

……各商店主の談……

▲夏川小間物店　凡てが御婦人向きの品で櫛笄二圓から五圓羽織紐二十錢から五十錢其他袋物です御令孃には花簪リボン等でリボンは三時から四時といつた幅廣が喜ばれます本年の新流行としては別にありませんが東髪用の三枚櫛は全く廢れて金蒔繪の二枚一圓五十錢から五圓位のが歡迎されます

▲増田商店　陶器と衣類には金を吝まぬ樣ですが概して道具には繪はぬらしく思はれます進物には漆器類ばかりで産地は靜岡若狭會津等です重箱四段賞入菓子器抔が重で値段は何れも一圓から三圓前後です

▲織居時計店　置時計の二十圓から五十圓指輪が二三十圓見當のが上流の進物として出ます需要は漸次減少する方でしよう

▲大上商店　蜜柑が紀州上物箱一圓から並五十錢苹果の化粧箱入一圓から二三圓鰹節の箱入三圓以上五六圓袋が一圓鹽鮭一貫目一圓五十錢奈良漬の樽入一圓以上五圓がソレ〳〵上中下を通じて進物に遣ひます値段は昨年と大差なく鹽鮭が時々變動がある位のものです

▲山邑支店　櫻正宗の四合瓶化粧箱入半打が二圓二十錢一打箱が四圓二十錢醤油ではヒゲ田五升樽二圓十錢一斗樽四圓十錢等が一番多く御用命を蒙ます

▲ランプリニデス商會　進物用にはアイラー一圓三十五錢エフュンデー二圓三十錢ジュピター一圓二十五錢スペシアル二圓等が最も多く需要があります葉捲は二十五本三四圓五十本五六圓が出ます洋酒はキュラソー一本一圓四十錢マラスキー一圓等が一部の社會に贈答されます

●感心したのが運の盡

▽日高貞夫の申立

既報鹿兒島縣人日高貞夫の私書僞造行使詐欺取財被告事件は八日午前十時より京城地方裁判所刑事部法廷に於て塚原裁判長の係り境檢事立會の下に公判開廷せられたり被告は丸斯立縞の羽織に金縁眼鏡を掛け龍鬚として法廷に立つ告辯護人として辯護士木尾虎之助氏出廷せり被害者側の民事私訴代理人として岩本英夫中村時章の兩氏出廷せり被告は裁判長の問に對し犯罪事實を逐一自白し犯罪の動機は彼の元井門店常枝の實兄佐々木德三郎が商業學校卒業間際に學資金不足の爲め身を犧牲に供したる心に感心してかゝる罪を犯したる次第にて只恐縮に堪へぬと涙を流し申立を爲したり終て事實の審問證據調べ終つて檢事は懲役一年を求刑し木尾辯護士は社會狀体より說き起し遊廓の取締に關し滑稽なる議論を爲し刑の執行猶豫の恩典を與へられん事を求む

仲居評判記（八）

白水のお壽美

旭町の松秀庵白水と申せば皆さん御承知の當時日の出の勢で賣出した料理店だと寡して居る、御存じの通りの場所だから何となしに品の好い如な感じをさせると云ふ利益があるのも繁昌の一因であらう、同家古參の仲居頭のお常が壽美家主人木村君の所へ披露けた跡は皆な新參者斗り、其新參者の中からお壽美さんを撰んだ理由は至極簡單明瞭だ、曰く『他の仲居さんには馴染がないからだ』其處で此の子の原籍を調べて見ると、福岡縣鞍手郡福地村本名は加藤スミ當年滿十八と八十ヶ月と云ふから數へ歳は二十五である、白水に來る前は龍山の八景園に居たのだが愛嬌タップリの上に美しいと來てゐるので藝妓衆がお客樣を取られるかと心配して鶴頭を買つて呉れないのに憤慨した次第でもあるまいが兎に角不景氣な所から白水に住み替わたのである相である、話は跡へ戻るが八景園に行く以前は京城ホテルに居たのだ相でヅット以前は故鄕の福地村で裏の畠で茄子と南瓜の喧嘩を見て居たのだと云ふ、兎に角客相手の稼業には馴れたものだ、客受けも善く藝妓の受けも佳いから無論主人の受けも良い筈である、併し慾を云ふと今少し世間話を仕込んで置くべしである

と辨論し言渡は來る十三日に決し閉廷したり

●鮮人の阿片自殺

▽男爵家使のカワウソ

西部仁達坊南征路九十六統九戸鍮路競賣所周旋人辛周植（四三）が七日夜劇藥自殺を遂げたることを宗橋派出所巡査が探知し八日午後二時西大門分署に急報したれば警官警察醫と同行取調べたるに本月一日同洞居住の金永根なる者が來たり男爵李秉武氏の使者なりと稱し毛皮裏附外套を見たしとのことに辛は競賣所より鄕の裏皮附外套價格六百圓のものを見せたるに金は之れを入質して逃走したるより自己が犯罪人となるを憂慮せる餘り七日夜九時頃阿片を仰いで自殺を企て翌曉一時落命したるなりと

●佐伯逢拘引せらる

▽前李王職事務官

前李王職事務官在職中人事係の要位を利用し自己の官位七等二級を一級に變造し遂に發見せられ其爲め諭示免官となりたる佐伯逢は其後平壌地方に彷徨し居たるが去月十八日鎭南浦署の手に捕縛せられ平壌地方裁判所檢事局に送致されたり事件の内容は目下豫審中なるを以て明記する能はざるも鎭南浦に於ける李完用、大倉組の埋立地に關して詐欺取財罪の嫌疑にして罪跡は充分なりと尚本件に關し李王職事務官李會九（李完用伯の甥）等も其筋の審問を受けたる由にて事件の進行に伴ひ意外の邊にも飛沫を及ぼさんと傳ふる

●榮次靜江訊問さる

▽奥村千里の申立曖昧

元京畿道廳雇員奥村千里の官金横領事件は境檢事の手にて豫審に付せられ豫審判事の係りにて取調中なるが被告奥村は横領せる金額一千數百圓と費消金額との點に曖昧なる申立を爲し取調進行上煩雜を來し居りしが該關係人京城券番榮次及靜江は八日午前十時高木豫審判事の召喚を受け同豫審廷に於て證人として訊問を受けたり

●起訴されし仲買人

▽檢事局に送らる

仁川米豆取引所不正仲買人笠日榮吉、倉重悌介、橋本彌三郎、中村嘉兵衛の四名が志水檢事の令狀を以て拘引せられたるは既報の如くなるが八日午前九時愈々檢事の起訴する處となり豫審判事の令狀を以て檢事局に送らる

●強盗嫌疑者就縛

淸國山東省萊州府生れ姚殿奎（二七）は仁川に於て強盗を爲し逃走したる嫌疑にて其筋の捜査人物なりしが七日午後六時頃鍾路分署管内に於て同署川添刑事に逮捕され目下嚴重取調中

●火の用心が肝要　八日午前四時龍山橋と新龍山鐵橋との中間にある鮮人の小店舗（龍山西江面賀中里二十三統十三戸）金貴萬（三〇）所有の家屋は燒失せり原因は金貴萬が鄭冲吉なるものと枕元に火鉢を置きて就寢したるに熟睡中右の火鉢を轉覆したるによりしなりと龍山署より署員出張直ちに鎭火したり時節柄一般人士の火元は用心を要す

●井戸から出た財布　本月三日龍山榮町魚商藤野玄三方雇鮮人金今福が川端町井戸中にて縞財布在中金六圓二十四錢を拾得龍山署へ屆出中の處右の遺失主は同町北陸館山口はるなる事判り金今福は金一圓を與へらる

●貧故の出來心　京城漢芝面元興洞八統一戸李萬福（三二）は去月三十日龍山柳町齋藤廣三郎所有の鐵道用スリッパ三本を窃取せし爲め龍山署に拘留中なりし處同人は平素行狀頗る良なる者より此程龍山署に於て訓戒放免せられたり

●姦通控訴事件　既報仁川の木村常次郎（五十）大角ひさの（三五）姦通控訴事件は八日午後一時より京城控訴院に於て第一回公判開廷せられ被告辯護人辯護士木尾虎之助氏出延せり

●パケット十個を盗む　北部光化門前金基根（三〇）は七日午後五時四十分頃北米倉町二十八番戸井町雜貨商店前にありしパケット十個外二點を窃取し南部署に捕はれ取調中

●殺人未遂犯人處刑　既報稻田紹藏が情婦稲上しまを絞殺せんとしたる殺人未遂事件は八日京城地方裁判所に於て懲役二年に處せらる

●殺人犯公判延期　仁川築港場に於ける殺人和田鹿藏の公判は其筋の都合により延期中なりしが愈々本日公判開廷せらるべし

●演藝だより

▲壽座　九日十日の兩日午後正五時より京城演藝大會を開く飛入勝手次第にして入場料は平場行次第にて三十錢均一なりと云へば定めし盛會なるべし番組左の如し
筑前琵琶（橘流鶴崎流連中）三曲合奏（藝妓連中）浄るり、長唄、喜劇、劍舞、浪花節（各連中）落語、ステテコ（三遊亭千朝外數名）

▲浪花館　若遊三一行の落語、手踊り

中學講義録

中學科を自宅にて獨習せんとする人に最も適するは大日本國民中學會の發行にかかる中學講義録なり、講義懇切丁寧にして最も平易なれば奈何なる人も難解の憂なく親しく師に就て學ぶと同一なり

大日本國民中學會は會長尾崎行雄指導の下に斯道專門の大家講述の任に當り講義の完全優秀なるは夙に天下に公評の存する所なるが曩に文部陸軍遞信の三大臣より賛辭を受るの光榮接せり

大日本國民中學會卒業生は都下三大學各專門部特科に無試驗入學することを得べく希望により學費を貸附して高等の學校に入らしめ特志の士には海外留學の大特典のもあり詳細は規則に就て看よ

目下第十六回新學期を開講し會員募集中なるが新入會者既に三萬に逹せり此際に限り入會金全免其他各種の特典有り見本つき規則書は東京市神田區駿河臺大日本國民中學會に申込次第無料郵呈

宴席御料理 仕出し
旭町 公園下
電話一三九一
御會席 大廣間あり

七日間で禁煙ができる

カオールさへ用ふれば乾度禁煙が出來るよし禁煙が出來なくも煙草が害にならないで味をよくのませる

經濟の上に於ても衛生の上に於ても又交際の上に於ても煙草は害があつてカオールは得がある譯だ

本舗 東京日本橋區水天宮前 象印歯磨本舗 安藤井筒堂

特約店 京城南大門通 新井藥房

全國有名賣藥化粧品店に有り

飲みすぎ食ひすぎまれ

ビットル散

本舗 大阪市江戸堀 猪飼史郎 各藥店ニアリ

代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房 電話九〇四番 振替口座京城一〇六八十六番

最上醬油 上 特約販賣

仁川京城 高雄支店

灘清酒販賣開店廣告

十二月五日開業景品付大賣出し

謹啓寒冷之候各位益々御隆昌奉大賀候陳は今回販路擴張且つ各位の御便利を謀り左記ノ通り直接販賣店を設置し御小賣業開始目下酒價暴騰の折柄に拘らず御披露として特別廉價を以て發賣仕候間何卒御試用の上多少に限らず御用命の程奉懇願候　敬具

兵庫縣灘 釀造元 江井ケ嶋酒造株式會社

京城南大門通二丁目 發賣元 百合正宗京城支店 主任 石生重治郎 電話一五一五番

優等銘酒	味濃別造	純良銘酒	佳味芳醇
ユリマサムネ	ゴウケツ	ハギマサムネ	ホマレダイ
優秀の芳香と絶倫の佳味は本酒唯一の特徴なり	品質濃厚無類の逸品風味言外にあり用少量陶然	香味純良の名釀にして大に灘酒の特色を發揮す	改良撰精の芳醇品質高尚實用と經濟に最も適す

名し眞て價の公評を乞ふ

◉樽詰酒 割引特價 大樽四斗四升五合入 壹樽金拾八圓以上種々有之候（別に定價表あり）

◉瓶詰酒 割引特價 防腐劑不入 百合正宗印 壹升瓶金七拾錢外ニ四合二合一合瓶有之

◉景品 開店披露の印として當分壹升以上購買者へ景品を進呈

◉豫告 千葉縣下總野田町高梨兵左衛門釀 最上醬油 印 特約一手販賣

右荷物延着に付着荷の上は景品付廉價發賣可仕候

學目藥

商標

●かれこれと迷ふこと勿れ完全無缺の大學目藥あり

大學目藥は帝國醫科大學病院の處方に基き貴重の製劑にして●流行目●トラホーム●星目●のぼせ目●かすみ目●血目●疲目其他眼病一切に可驚奇効あり

發行所 大坂市北濱一丁目 ヘブリン丸元祖 參天堂藥房

大阪田口の かぜねつの最良藥 ヘブリン丸

各藥店にあり 定價 五戔 十戔 十五戔 三十戔

代理店 京城南大通三丁目 新井藥房 電話九〇四番 振替口座京城一〇六八十六番

腦病全治新藥 健腦丸

神經をしづめ腦病を全治す

島村醫學博士の有効證明を得たる健腦丸は、神經病に奇効を奏し逆上を引下げ、便通を心能し、中風卒中を未發に防ぎ恐るべき腦充血を全治す

記憶力惡き人頭痛する人神經衰弱にて氣分鬱ぐ人常に腦神經を勞する人の必用藥は獨り本劑のみ也

代理店 京城南大通三丁目 新井藥房 電話九〇四番 振替口座京城一〇六八十六番

新荷着

厚物 薄物 浪板 平板 鐵板各種 各種垣用線

和洋金物商 佐野彥藏商店 京城本町二丁目 電話一六三番 振替口座京城一二〇番

◉母國よりも安い◉

携帶電燈 大一圓二十錢 中壹圓 小七拾錢

懷中電燈 大九拾錢 小七拾錢

地方には即時小包發送

◉大々的の勉強◉

各種眼鏡 貴金屬 時計 電燈品 一式

販賣 金化堂時計舖 京城本町一丁目郵便局前 電話三一八番

營業科目

東京竹内製金庫 東京堀井謄寫版 喞筒並ニ消火器 手提金庫 器械的文房具 謄寫紙及謄寫簿

弊店ハ前記各品專門的ニ營業住實故ニ價格ハ概チ内地ニ劣ラズ物品ハ潤澤ニ取揃ヘ居候間御注文ト共ニ營業品目録ハ御申越次第送呈仕候

熊平支店 京城本町一丁目 電話六二四番 振替貯金韓國二三番

やま玉たび

大坂塩町通二丁目 岸田本店

京城本町二丁目 岸田支店

◆用法は作物の名を示し下記へ御照會◆

朝鮮畑作物のためには

智利硝石 窒素肥料

廉價 輕便 速効

本肥料販賣店御不明の際は御照會被下度候

◆◆智利硝石普及會東洋本部◆◆

東京市麴町區馬場先六番 電話本局二九八九

十二月中 瀛船出帆廣告

船名	行先	出帆
宮丸	宮島行	十二月十一日午前九時
大草丸	海州行	十二月九日午前四時
成歡丸	竜串行	十二月　日午前　時
安東丸	海州行	十二月十一日午前六時
三省丸	大湖芝行	十二月　日午前十時

合資會社 秋田商會船舶部 仁川本町四丁目 電話一七三番 七一〇

竝齋流割烹 す津祢

南山町一丁目 電話千五百二番

◉新荷着

静香園 茶

◉銘茶、鰹節、東京海苔右新製品卸小賣共大勉強可仕候間御注文願上候

卸小賣商 仁川宮町 青島商店 電話七〇九番 振替京城六〇番

京城本町三丁目 諸官衙御用達 兼業 大坂野村德七代理店 田中友吉商店 電話九九三 發電略(タ)